

日刊 印刷 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地 (電話六三〇番) 常務每日印刷所



刊夕日五月四

定部金貳錢 一ヶ月卅錢 三ヶ月九拾錢 半年一圓七拾錢 一年三圓二拾錢 廣告費 五字一行 一日一錢 五字一行 一日一錢 印刷費 別日別報 福島縣石城郡平町長橋町三五番地 發行所 常務每日印刷所 電話六三〇番

常警論壇
 退際丈は公明に
 一承前
 政界通人

茲に於てか憲本聯盟に對する世評は頗る險惡を極め床次君等の無節操且陰謀なり方は一般の指彈する所となり加ふるに震災手形法案の裏面の醜怪が暴露せられたる憲本聯盟の陰謀が殊に明らかへ引き出されることとなつた爲めに床次君等の思惑はすつかり外れ憲政會内に於ける若槻内閣居据運動を初め憲本聯盟の不評判は日をおふて昂まりつつある狀況である併し若槻内閣は

政治道徳上又政治の行詰りの點よりして到底永くその地位に止まることを許されぬもののである、であるからどうせ罷るものならば一日も早い方が政界安定のためにも又人心を新ならしむる爲にも極めて必要のことであつて此場合に臨んで尙憲本聯盟の不評を氣にして愚圖々々して其進退を誤るが如きは若槻首相の爲にも甚だとらざる所である即ち深甚なる考慮の謎で可成り國民に倦怠を來さしめ政界を永く陰鬱の状態においたことが若槻首相の本意でなかつたといふことを知らしむる爲めにもせめて退際

だけなりと立憲的に公明にやつて貰いたいものである (をばり)

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

外科
 外科一般 耳鼻咽喉科 女性病科 ×光線科

赤心堂病院
 山町 電話四七五番

種々醫學 關内藥局 電話四〇〇番

加工場新設
 ガラスは「シハヤマ」

平町古鍛冶町縣社下 **柴山硝子店**

看護婦派出所
 の求めに應ず 平町南町 **平看護婦會** 電話三〇七番

に鶴屋商店
 電話百四十番

入學生の御用意に 進級生 學生カバン 學生帽子 手提靴 フィルトブーツ各種 豊富の品より御選びを 平町四丁目

古川徳三郎 儀永らく病氣中の處療養不相叶四日後九時死去仕候間此段乍略儀以紙上生前ノ辱知諸君ニ謹告仕候也 追ヲ葬送ノ儀ハ來ル八日午後二時自宅出棺 植田町常春院ニ於テ佛式ヲ以テ執行仕候 昭和二年四月五日

親戚 古川音次郎 古川良三 古川博三 古川通之郎

友人 安島重三 白井成博

總代理人 金井通之郎

名特 入提 拭手
 吉田屋 染工場 (電話五五八番) 振替仙台五三二八番

福島縣平町五丁目 徒弟入用 一三四歳位ノ者四五名

粟守酒
 事實は雄辯に語る!! 代表的養素として本劑の偉効は既に萬人の賞讃を得、特約店として弊店の最も光榮とする所であり、弊店平町一丁目(電話六四二番) 特約店 **大平屋藥舖** 代價金壹圓九拾錢也 八日分(六百五拾瓦入)

材木ハ色川材木店へ
 米材 杉五分板 姫松一寸五分 入荷 地方材ヨリ廉賣ス 多少ニ不拘御用命ヲ仰付下サイ 電話三四一 番

原齒科醫院
 平町土橋通り電話三一一番

吉田眼科醫院
 平町土橋通り電話三一一番

醫學博士 菊地泰助
磐城共濟病院
 磐城共濟會員各位

三月三十一日 上候

貸地
 平の山の手の稱ある胡摩澤の高台 縣社八幡宮裏手に參千餘坪 貸空家 一ヶ月家賃 七、二〇 一ヶ月家賃 七、〇〇 附近の重なる建物 八幡宮。中學校。裁判所。小學校。女學校。水道電氣の取附容易 御希望の方は左記へ御來訪下さい

マツモトヤ 電話二二四番 四丁目 百澤商店 電話一二二番

明日開かれる 水道問題の公判

有志は擧つて上京

水利權有無に關する重要點

平三萬の町民が比しく其成行き如何を刮目して居る大瀧發電所に連繫せる水道問題の行政訴訟第四回の公判は

明六日

午前十時か

ら東京行政裁判所に於て開かれる、同訴訟経過の概要は當時所報の如く最初被告たる川淵知事代理の里見屬が認廷に於て平町側に水道引水の水利權なしと斷言した事より始まり列席の裁判官諸公から矢の如き急迫に遭遇し次回に於ては前言を取消して平町側の水利權を

確認し

たるに拘ら

す更らに其言を食み「水利權があると思つたのは矢張り自分の法規上の誤解に基くものであつて今になつて考へると平町側に水利權があるとは申せません」と三度其主張を變へ其論據の薄弱な事を暴露し神聖な認廷に失笑と嘲笑の渦を卷かし

醜態を 演出するに至つたものであり従つて今回抗争の中心點は平町側水利權の有無に關する重要な問題に就いてであるから平當局は里見屬の偏見を粉碎すべく過般各様の確證を握り是れを岩田宙造博士の手に依つて準備書類と爲し

郵便物の包装は

完全にして貰ひたい

平郵便局長語る

包裝の悪い郵便物程郵便従業員を悩ますものはない包装が惡いたためたとへば小包が破損したからといつてそのまゝ配達するわけに行かず已なく包裝の破損した箇所は一々修理して配達せねばならぬのでそれがため

に要する郵便局の手数は大したものだ右について田村平郵便局長は語る「郵便物の包装は出来るだけ完全にして貰はぬとお互ひに困る郵便局でも手数がかゝつて困るし受取人の方でも包装の破損した小包や郵便物を受取つた時は不愉快なものだから郵便物の包装だけは完全にして貰ひたい、なほ郵便物の中包装の破損し易いのは何といつても帯封のした新聞雑誌や小包である

古川翁逝く

古川縣議の嚴父 葬儀は八日に

石城郡植田町酒造家古川徳三郎氏は永らく病氣中の處昨日午後九時途に長逝された、同氏は縣會議員古川傳一氏の嚴父であつて眞に温厚篤實社會よりの人望篤く植田町に町制未だ敷かれざる以前鮫川村の村長として自治に貢献せる功勞多く擧げられて郡會議員の重職に就いた事もある、享年七十二歳孝養深き古川縣議の心の内こそ察するに餘りあり悼まじき限りである、因に

新教員配置

石城郡へ

夏井尾形米吉、江名門馬一、上遠野佐藤豊、錦波部常二、赤井第二大野正内郷第三鈴木寛、内郷第二渡邊政樹、内郷小林明良、川部大井川進中、下三坂青木四郎、平第一根本菊義、鹿島荒川榮、飯野北郷續、玉川小野充雄、小川田久義光、磐崎高木一郎、好問吉野次美、神谷高木清志、湯本長谷川榮小名濱、佐藤静一、湯本草野明位、渡邊小泉みよ、澤渡永山たよ、好問吉田さた、川部赤津なか



新入兒童

をもつ親達の心得べき衛生事項の大體は……薄暗い所

で讀書させると近視眼になる。トラホームには常に注意を怠らぬことつめを長くのばさぬやう。常に切つてやること。學校から歸つたら水でよく手足を洗はさせること軽い虫下しとしてヂゲルミンを毎月一回必ず飲ませること。早起早寢を奨勵して充分睡眠させ間食は

不平受付

投稿歓迎

葬儀は八日午後二時自宅出棺同町常春院にて執行さるる事ですが夜の講演會には電燈の注意が欠けて居やしないかと思はれます、去る廿六日の商業講演會々場(元郡會議事堂)の電燈照明には全く講師の方も眩しくよく傍聴者の顔が見えず傍聴者も講師の態度が見えませんが其爲め神経がイライラして來ます、あの電燈をもつと高く上げ反射のなすりガラスの覆をつけてもつと燭光を強くして下さいますんかさうすれば双方の氣持が良からうと思ひます(T.M.生)

安島米穀検査所長(元郡會議事堂管理者)の答に極御尤もな事で私共も主權者の都合で當方の主權者としての如何とも爲し難いのですが照明の裝置として電燈を高く上げる事やスリガラスにする事等は當方の仕事ですから夫等に就いての照明の工合を早速考へて見ます

五人殺事件に

一道の光明

櫻村署長歸る

石城郡内郷村大字白字長槻内大越五平(三)方一家五人殺傷事件犯人に就いては今では生き残つた三名も全部死亡した事として捜査に非常の苦心を來して居るが近親者の某を有力な被疑者として綴驛前の捜索本部に引致し取調べ中の處事件の前途に一道の光明を認めたらしく昨日から歸署した櫻村平署長は「犯人の判明しない時は捜査本部を何年でも置いて必らず犯人を檢舉して見せるよ」と何か信する

會費は低廉

普及に廣く

昨報今度愈よ平町に組織された平乗馬會の會則に依れば入會金として金三圓を申込と同時に納附し毎月五日迄に金二圓を納むる者は何人も會員たるの資格を有する事が出来るとして練習は一ヶ月八回とし一回卅分以内と限られて居るが其以外にも練習をせやうとする場合は一回卅錢納入すれば

日用法令

岡部稅務署長談

心得られ度き 法令の改正は其の都度官報にて發表されるが一般人民に徹底せぬため往々に犯則者を出だし一方事務執行の上にも能率を缺き、繁雜に堪ぬると岡部平稅務署長は語る

盆裁の昭和園

昨報

期日前十五日の現在に於て地租名寄帳に納稅義務者として記載せられたる個人(地租條例十三條の二の規定に依る地租を徴收せられざる者を含む)は當該市町村内に於て調査委員を選挙し又は調査委員を選挙せらるる事を得以前復選挙に依つたものが無記名投票に依つて行ふ事となり調査委員の数は市内十八町村は夫々一人と云ふ事になりました